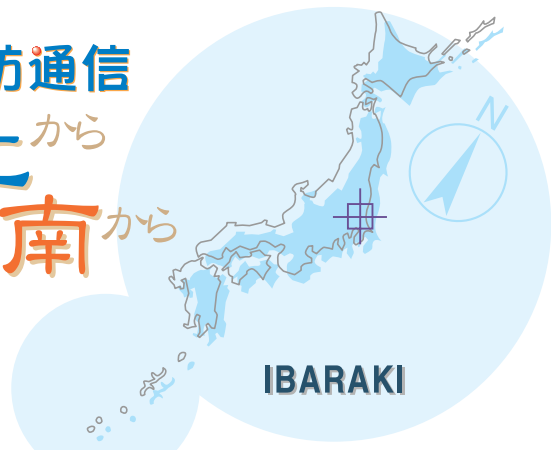




IBARAKI

茨城県 茨城西南地方広域市町村圏 事務組合消防本部

茨城県
茨城西南地方広域市町村圏
事務組合消防本部
消防長 田宮 陽一



都市と自然・歴史の融合

茨城西南地方広域市町村圏事務組合は、茨城県の最西端、千葉・埼玉・群馬・栃木の県境に位置し、関東平野のほぼ中央にあたります。首都圏にも約60km圏に位置し、東西約31km、南北約31kmの逆三角形の地域で、管内人口は33万2,018人、総面積は500.25km²あり、利根川・渡良瀬川・鬼怒川・小貝川に挟まれた水と緑ゆたかな大地であり、総面積の50%が耕地で、その他は商業地帯・工業地帯・住宅地域が混在しており、国道4号線をはじめとする4本の国道が広域管内をとおり流通の拠点となっています。

また、当地域には古代にさかのぼり万葉集や吾妻鏡な



古河総合公園

どにも出てくるなど歴史があり、平安時代に平将門公、室町時代の古河公方や江戸時代の八万石の城下町など数多くの歴史や伝説に彩られ、史跡が点在してお

ります。現代においては2003年に古河総合公園が日本で初の受賞となる「ユネスコ メリナ・メルクーリ国際賞」を受賞し、市民のいこいの場として歴史の風情と融合するなど観光資源に恵まれた地域でもあり、県内はもとより県外、都心からも毎日多くの人々が来園しています。

消防体制

当広域消防本部は昭和49年4月1日に発足し、現在は市町村の合併もあり古河市・下妻市・坂東市・常総市(旧石下町)・八千代町・五霞町・境町の4市3町で構成された、1本部4署9分署5出張所、職員数433名で組織され、78分団1,786名の消防団員とともに、住民生活の安心・安全の確保に努めています。

今後の取組 & 課題

平成17年には消防緊急通信指令システムを整備しました。これにより場所の特定、災害の的確な把握、到着までの時間の短縮がなされ、火



国際緊急援助隊に参加

災救急はもちろんのこと消防隊と救急隊によるPA連携出場により、救急支援活動など市民サービスの向上に取り組んでいます。

また、JICAの国際緊急援助隊にも8名の職員が登録され、2005年にはパキスタン地震に派遣し国際貢献も



救助隊による救出訓練

果たしています。これら被災地での貴重な経験は、職員はもとより組織の大きな財産として、近年危惧されています大地震、大災害に備

え、消防力の充実強化ならびに消防体制の強化に努めるとともに、尊い生命財産が失われないように役立てて参りたいと思います。

最後に

職員の高齢化、消防の広域化、消防救急無線のデジタル化など、消防の転換期を迎えようとしており、多くの課題を抱えている中、住民が安全で安心して生活できる地域づくりに、職員一丸となって努力してまいります。